

86 住宅街の真ん中の古墳、亀塚古墳



受賞者：なし
 推薦者：清水 聡 さん

【推薦コメント】

亀塚古墳は、狛江古墳群唯一の前方後円墳であり、屈指の規模でした。現在は前方部の一部が残るだけですが、昭和20年代に発掘調査が行われ、5世紀から6世紀初頭にかけての石棺や多くの遺物が出土しました。古墳の上にある石碑は、明治から昭和期にかけて活躍した評論家徳富蘇峰の揮毫によります。

墳丘の大部分が崩されてしまっていますが、住宅街の路地を通して辿り着く、歴史の残る古墳として魅力百選に応募します。

【講評】

亀塚古墳は、本来は、全長約40m、高さ6mほどの帆立貝形の前方後円墳でした。現在はそのごく一部である最大長11.5m、高さ1.6mが残されており、後円部北東部分の墳形をを推測させるラインが道路の湾曲によって観察できます。5世紀末頃に築造された古墳で、昭和26年に行われた発掘調査では、鏡・馬具、装飾具、武具、埴輪など多彩な副葬品が出土しました。

このような貴重な史跡が住宅街の真ん中にあることで、歴史を身近に感じる場所として長年親しまれてきたことを高く評価します。